

# マーク・ザッカーバーグ

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

マーク・エリオット・ザッカーバーグ (Mark Elliot Zuckerberg, 1984年5月14日 - )は、アメリカ合衆国のプログラマ、実業家。Facebookの共同創業者兼会長兼CEO。

ハーバード大学在籍中にソーシャル・ネットワーキング・サービスサイト「Facebook」を立ち上げた<sup>[注釈 1]</sup>。2010年のTime誌「パーソン・オブ・ザ・イヤー」に選ばれた。

# 目次

## 来歴

- 生い立ち  
大学時代  
実業家

## Facebook関連

- 買取の噂
- News Feed
- Facebook Platform
- ConnectU論争
- 議会公聴会出席
- アカウント対処に関わるネットミーム

## 人物

資產

脚注

- 注釈  
出典

## 参考文献

## 関連項目

## 外部リンク

## 来歴

## 生い立ち

アメリカ合衆国ニューヨーク州ウェストチェスター郡ホワイト・プレインズで、歯科医の父親と精神科医の母親からなるの家庭の第2子として生まれ、姉1人と妹2人がおり、ドブスフェリーで育った。曾祖父はドイツ、オーストリア、ポーランドから移民したユダヤ系であった<sup>[2]</sup>。その後のザッカーバーグはアーズリー高校に入学し2年を過ごす、退屈さに耐え切れず、アイビーリーグの大学に進学するのが当たり前のエリート進学校として難関大学入試突破に特化した全寮制高校（ボーディングスクール）の1つである、フィリップス・エクセター・アカデミーへと転校する。友人のアダム・ダンジェロとともに2003年、音楽再生用フリーソフトウエア「Synapse Media Player」のサービスを開始した。これは利用者が以前に選択した曲をベースに、聞く曲目を予測してくれる機能が、高い称賛を受けたソフトウェアであった。マイクロソフト社を含む幾つかのソフトウェア会社がこのプレイヤーに興味を示したが、正式な取引は行われなかった<sup>[3]</sup>。

## 大学時代

その後ハーバード大学に入学し、2006年卒業予定の学生として登録された。入学後はフラニティのアルファ・イプシロン・パイに所属した。このハーバード大学在籍時においても自身のプロジェクトの創出を続けていた。初期のプロジェクト「Coursematch(コースマッチ)」では、同じクラスを履修している他の学生のリストを参照できるようにした。のちにプロジェクトの1つとして開設したサイト「Facemash.com(フェイスマッシュ.com)」は、ハーバード大学内に特定した、ランキングサイト「Hot or Not」のような画像格付けサイトであった。しかし、ネット上に開設後すぐに、大学の管理部職員によってザッ

<div> <div>マーク・ザッカーバーグ</div> <div>Mark Zuckerberg</div> </div>	
	
2014年	
生誕	<div>Mark Elliot Zuckerberg</div> <div>1984年5月14日 (35歳)</div> <div> <div><span></span></div> <div>アメリカ合衆国 ニューヨーク州 ホワイト・プレインズ</div> </div>
住居	カリフォルニア州 パロアルト
国籍	<span></span> アメリカ合衆国
別名	Zuck
民族	ユダヤ人
出身校	<div>ハーバード大学工学部</div> <div>計算機科学専攻 中退</div>
職業	起業家
活動期間	2005 -
影響を受けたもの	<div>スティーブ・ジョブズ</div> <div>ビル・ゲイツ</div> <div>ドナルド・グラハム</div>
給料	1ドル
純資産	<span>▲</span> 710億ドル(2018年) <sup>[1]</sup>
身長	171 cm (5 ft 7 in)
肩書き	Facebook 共同創業者兼CEO, Lizard
取締役会	Facebook
宗教	ユダヤ教、仏教
配偶者	プリシア・チャン (2012 - )
子供	2人
署名	

カーバークのインターネットアクセス権が無効とされたため、サイトがオンライン上に存在したのはわずか4時間程となってしまった。大学のコンピュータ業務部がザッカーバークを連れ出したのち、彼はハーバード大学運営理事会によって、コンピュータのセキュリティを破りインターネット上のプライバシーや知的財産の規約に違反したとして処罰された<sup>[4]</sup>。

## 実業家

ザッカーバークは、自由で公然とした情報の利用を可能にすべきと考えていたことを主張した。理事会側からの訴訟は公的には行われず、その後ザッカーバークはSNSサイト「Facebook（フェイスブック）」を立ち上げると共に大学を休学、その1年後に中退となった。ザッカーバークは中国の清華大学経済管理学院顧問委員の一人でもあり<sup>[5]</sup>、習近平国家主席とも会談している<sup>[6]</sup>。他企業の幹部らとともに、移民法改革の政治団体「FWD.us」を設立<sup>[7]</sup>。

## Facebook関連

詳細はFacebookの項目も参照。

### 買収の噂

Yahoo!やバイアコムなどの企業が、Facebookを買収しようとしたが、ザッカーバークは7億5千万ドルの買収の話を断つたと報道されたことがある。

### News Feed

2006年9月5日、Facebookはサイト上で友人が何をしているかを一覧で表す「News　Feed（ニュース・フィード）」の機能を開始した。しかし、ザッカーバークはある利用者がみだりにNews　Feedを見たりする点や、これがネット上でサイバーストッキング行為を働けるツールであるとして、非難の的になった。その3日後に、ザッカーバークはFacebookのコミュニティにある公開文に返信を投稿し、突然こうした機能を設けたことに謝罪して新しいプライバシー保護機能を提供したものの、このNews　Feedの機能と彼の自由な情報利用という方向性は守った。この機能は友人間での利用にとって有用なものであり、プライバシー機能を設定することで、友人・知人以外の利用者からのアクセスをブロックできると彼は主張した。現在、このNews　Feedは、Facebookの利用者が使用する主な機能の1つになっている。

### Facebook Platform

2007年5月24日、サンフランシスコで行われた「f8」と呼ばれる会議の中で、ザッカーバークはFacebook内で使用できるアプリケーションの開発を可能にするアプリケーション・プログラミング・インタフェース、「Facebook Platform（フェイスブック・プラットフォーム）」を開始すると発表した。彼のスピーチはしながらスティーブ・ジョブズがアップルの新製品を紹介するかのようなスタイルで行われている<sup>[8]</sup>。

このFacebook Platformのサービス開始後、ザッカーバークとFacebookはより多くの報道の的となり、同年8月のニューズウィーク誌には巻頭記事にもなった<sup>[9]</sup>。

### ConnectU論争

ハーバード大学時代のザッカーバークのクラスメート、ディヴァ・ナレンドラ、キャメロン・ウィンクルヴォス(en)、タイラー・ウィンクルヴォス(en)は、彼らのウェブサイト「ConnectU（コネクトユー）」のコードを完成させるためにザッカーバークを雇い、彼にサイトのアイディアやデザイン、ビジネスプランやソースコードを盗まれたのだと主張した。2004年、契約違反や企業秘密の悪用、著作権侵害他、様々な請求により、ザッカーバークは告訴された。ザッカーバーク側はそのような雇用の契約書は無く、また彼らの事業に長くは携わっていなかったことの他に、ConnectU側がFacebookへ財政的な被害を与えようとしていると主張した<sup>[10]</sup>。しかし、ConnectUはFacebookを閉鎖させる意図はないと断言している。

告訴の提起がマサチューセッツ州で行われて以来、訴訟は2007年3月28日に棄却されたが、採決されてはいなかった。告訴はその後すぐにボストンの連邦地方裁判所で再び提起され、2007年7月25日に予備審問が予定された<sup>[11]</sup>。審問にて、裁判官はConnectU側の申し立ての一部は十分な弃明が行われていないとし、修正した告訴状を再提出できる猶予期間を与えた。

この経緯は、映画『ソーシャル・ネットワーク』にも題材として取り上げられて世界中の耳目を集め、結果「Facebook」への関心をさらに高める結果ともなった。2011年4月11日、連邦控訴審はウィンクルヴォス兄弟の「自分たちの株式の価値は低すぎる」との主張を退けた第一審の判決を支持し、評価額1株あたり8ドル88セント相当の Facebook 株式を受け取るべきとの判断を示した。

### 議会公聴会出席

アメリカ国内では、Facebookの約8,700万人に及ぶユーザー情報流出問題、プライバシーの扱いなどに関する姿勢が問題視され、マーク・ザッカーバークは、2018年4月10日に米連邦議会上院司法委員会の公聴会に<sup>[12]</sup>、翌11日には米連邦政府下院エネルギーおよび商業対策委員会の公聴会に出席。それぞれの公聴会は数時間に及び議員からの質問に対応する厳しいものであったが<sup>[13]</sup>、議員からの質問の一部には専門性に欠けるものがあり、あらかじめ用意した資料に基づき無難に乗り切った。株式市場では、マーク・ザッカーバークへの追及がこれ以上深刻になるものではないと判断され、下落が続いてきたFacebookの株価が上昇した<sup>[14]</sup>。

### アカウント対処に関わるネットミーム

フェイスブックにおいてアカウント凍結・削除されることが、創業者の名前から「Zucced(ザッカーバークされた)」「Zuccing(ザッカーバークする)」という単語として流行したと報じられている<sup>[15]</sup>。

## 人物

色弱<sup>[16]</sup>。

2012年5月19日、1歳年下のプリシラ・チャン(Priscilla Chan、1985年生まれ)と結婚したことを発表した。在ベトナム華僑だった両親を持つチャンとはハーバード大学の同窓生で、ザッカーバーグと出会って以来9年間にわたって生活を共にしていた<sup>[17]</sup>。結婚式は、チャンのカリフォルニア大学サンフランシスコ校医学校卒業と博士号取得を祝うパーティを装って、ザッカーバーグの家の裏庭で行われた。また、ザッカーバーグはプリシラの親類と付き合うため、中国語を勉強している<sup>[18]</sup>。子供は娘2人である。

ザッカーバーグはユダヤ人の家庭で育ち、13歳の時にユダヤ人の成人式を祝っている<sup>[19]</sup>。その後ユダヤ教からは遠ざかっていて、仏教にも興味を持って一時は無神論者ともいわれたが、最近では宗教は人間として大切なものと語っている<sup>[20]</sup>。2017年5月に行われたハーバード大学の卒業式での講演をユダヤ教の祈りで締めくくり、困難な時にいつもこの祈りをしていると語っている<sup>[21]</sup>。

## 資産

2010年、経済誌『フォーブス』が発表した「世界で最も若い10人の億万長者」の第1位に当時25歳の最年少でランクインした。推定総資産額は約40億ドル。同年、寄付啓蒙運動のギビング・プレッジに参加。2011年3月、『フォーブス』が世界長者番付を発表し、推定総資産額135億ドル(日本円で約1兆1,475億円)で52位にランクインした。この額は前年の40億ドル(日本円で約3,400億円)の約3倍にあたる数字であり、ランクも前回の212位から52位に大幅アップとなっている。今回の大幅アップの要因は映画『ソーシャル・ネットワーク』のヒットが関係しているようであるという<sup>[22]</sup>。2011年5月、地元紙『サンノゼマーキュリー』によると、本社移転先のサン・マイクロシステムズ本社跡から車で10分のパロアルト市内に新居を購入したという。購入価格は700万ドル(日本円で5億6000万円)で敷地面積が5000平方フィート超あり、5つのベッドルームに4つバスルーム、塩水プールと音楽鑑賞用アルコブがあるという<sup>[23]</sup>。2011年9月、『フォーブス』が米国長者番付を発表し、推定総資産額175億ドルで14位にランクインした<sup>[24]</sup>。2012年の『フォーブス』によると総資産約175億ドルで世界富豪ランキングで35位となる<sup>[25]</sup>。2016年の『フォーブス』では総資産約446億ドルで世界6位となった。

## 脚注

### 注釈

- ↑ 立ち上げに際しては、同大学計算機科学部生のアンドリユー・マッコラム、ルームメイトだったダスティン・モスコヴィッツやクリス・ヒューズ、エドワード・サベリンなど、他のハーバード大学の学生が協力した。

### 出典

- ↑ 『2018年版フォーブス世界長者番付トップ20 (<http://oneboxnews.com/articles/2018-top-billionaires>)』2018年3月8日 Onebox News
- ↑ FacebookのCEOとCOO、トランプ大統領令にそれぞれ懸念表明 (<http://www.itmedia.co.jp/news/articles/1701/29/news016.html>)
- ↑ [http://www.accessmylibrary.com/coms2/summary\\_0286-16259964\\_ITM](http://www.accessmylibrary.com/coms2/summary_0286-16259964_ITM) ([http://www.accessmylibrary.com/coms2/summary\\_0286-16259964\\_ITM](http://www.accessmylibrary.com/coms2/summary_0286-16259964_ITM))
- ↑ <http://www.thecrimson.com/article.aspx?ref=350143> (<http://www.thecrimson.com/article.aspx?ref=350143>)
- ↑ “清大学管理学院-委会名 (<http://www.sem.tsinghua.edu.cn/about/wyhmd.html>)”. 清華大学経済管理学院. 2017年11月24日閲覧。
- ↑ “習近平国家主席、アップルやフェイスブックのCEOと会見＝「中国の発展は世界のチャンス」－中国メディア (<http://www.recordchina.co.jp/b195564-s10-c10.html>)”. Record China (2017年11月24日). 2017年10月31日閲覧。
- ↑ “FacebookのザッカーバーグCEOら、政治団体「FWD.us」を立ち上げ 移民就労改革などを目指す” (<http://www.itmedia.co.jp/news/articles/1304/12/news039.html>). (2013年4月12日) 2013年4月17日閲覧。
- ↑ <http://developers.facebook.com/videos.php> (<https://developers.facebook.com/videos.php>)
- ↑ <http://www.msnbc.msn.com/id/20227872/site/newsweek/> (<http://www.msnbc.msn.com/id/20227872/site/newsweek/>) Archived (<https://web.archive.org/web/20101007212244/http://www.msnbc.msn.com/id/20227872/site/newsweek>) 2010年10月7日, at the Wayback Machine.
- ↑ <http://www.thecrimson.com/article.aspx?ref=503336> (<http://www.thecrimson.com/article.aspx?ref=503336>)
- ↑ <http://www.pcworld.com/article/id,135041-c,webservices/article.html> (<http://www.pcworld.com/article/id,135041-c,webservices/article.html>)
- ↑ “FacebookのザッカーバーグCEO、初公聴会を無難に乗り切る (<http://www.itmedia.co.jp/news/articles/1804/11/news055.html>)”. It media (2018年4月11日). 2018年4月15日閲覧。
- ↑ “下院公聴会で「自分のデータもCAに売却されていた」 (<http://www.itmedia.co.jp/news/articles/1804/12/news052.html>)”. It media (2018年4月12日). 2018年4月15日閲覧。
- ↑ “難局打開のマーク・ザッカーバーグ、1日で資産「530億円」増 ([https://forbesjapan.com/articles/detail/20590?cx\\_art=trending](https://forbesjapan.com/articles/detail/20590?cx_art=trending))” (2018年4月13日). 2018年4月15日閲覧。
- ↑ “Facebookアカウントが凍結されることを意味する「ザッカーバーグされた」なる単語が大流行した背景とは? (<https://gigazine.net/news/face>

- book/)” (日本語). *GIGAZINE*. 株式会社OSA. 2019年5月19日閲覧。 “Facebookは2019年に入り、利用規約を改定し「白人ナショナリズム」に関する投稿を禁止したり、マーク・ザッカーバーグCEOが「インターネットには新しいルールが必要だ」という意見を発表したりと規制を強めています。そんな中、Facebookアカウントが削除されたり凍結されたりすることを意味する「Zucced(ザッカーバーグされた)」「Zuccing(ザッカーバーグする)」という単語が流行したと報じられています。”
- ↑  “色盲のFacebook創業者、マーク・ザッカーバーグに捧げるファンページ | AdGang (https://adgang.jp/2014/07/68801.html)”. 令和1年10月10日閲覧。
  - ↑  Facebook's Mark Zuckerberg Marries Sweetheart (http://www.nytimes.com/aponline/2012/05/19/business/ap-us-facebook-ceo-married.html?\_r=1) New York Times 2012年5月20日閲覧
  - ↑  “ザッカーバーグ氏が中国語で講演、聴衆わかせる” (http://www.cnn.co.jp/tech/35055613.html). *CNN*. (2014年10月24日) 2014年10月24日閲覧。
  - ↑  Mark Zuckerberg: He's got the whole world on his site (Independent) (https://www.independent.co.uk/news/people/profiles/mark-zuckerberg-hes-got-the-whole-world-on-his-site-2034134.html)
  - ↑  Mark Zuckerberg says he’s no longer an atheist, believes ‘religion is very important’(The Washington Post, 2016) (https://www.washingtonpost.com/news/acts-of-faith/wp/2016/12/30/mark-zuckerberg-says-hes-no-longer-an-atheist-believes-religion-is-very-important/?noredirect=on&utm\_term=.3170facc3fff)
  - ↑  Mark Zuckerberg shares the prayer he says to his daughter every night (The Washington Post, 2017) (https://www.washingtonpost.com/news/acts-of-faith/wp/2017/05/25/mark-zuckerberg-shares-the-prayer-he-says-to-his-daughter-every-night/?utm\_term=.308b398b8e48)
  - ↑  “映画化効果!? Facebookのマーク・ザッカーバーグ氏、世界長者番付で212位から52位に大幅ランクアップ!推定資産も前年比約3倍の135億ドルに!” (http://www.cinematoday.jp/page/N0030981). シネマトウデイ. (2011年3月10日) 2011年6月11日閲覧。
  - ↑  “写真で拝見! マーク・ザッカーバーグが初めて買った豪邸の中” (http://www.gizmodo.jp/2011/05/zuckerbergs\_opulent.html). ギズモード・ジャパン. (2011年5月12日) 2011年6月11日閲覧。
  - ↑  http://www.forbes.com/forbes-400/gallery/mark-zuckerberg#gallerycontent (http://www.forbes.com/forbes-400/gallery/mark-zuckerberg#gallerycontent)
  - ↑  フォーブス2012(雑誌)

## 参考文献

- Grynbaum, Michael M. (2004年6月10日). “Mark E. Zuckerberg ‘06: The whiz behind thefacebook.com” (http://www.thecrimson.com/article.aspx?ref=502875). *The Harvard Crimson*.

## 関連項目

- ソーシャル・ネットワーク (映画)
- ハーバード大学の人物一覧

## 外部リンク

- bigshot.orgによる、ザッカーバーグのプロフィール (http://bigshot.org/markZuckerberg) (英語)
- Current誌によるザッカーバーグのインタビュー (http://www.msnbc.msn.com/id/6596533/site/newsweek) (英語)
- Mark Zuckerberg (https://twitter.com/finkd) (@finkd) - Twitter
- Mark Zuckerberg (https://www.facebook.com/zuck) - Facebook
- Mark Zuckerberg (https://www.instagram.com/zuck/) (zuck) - Instagram (英語)
- Mark Zuckerberg - Forbes (https://www.forbes.com/profile/mark-zuckerberg/)

「https://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=マーク・ザッカーバーグ&oldid=74567085」から取得

最終更新 2019年10月10日 (木) 04:37（日時は個人設定で未設定ならばUTC）。

テキストはクリエイティブ・コモンズ 表示-継承ライセンスの下で利用可能です。追加の条件が適用される場合があります。詳細は利用規約を参照してください。